

卒業式特集



今号は卒業式特集です。

卒業生たちが創り上げた、感動の『合唱構成詩』発表から1か月半。

あの時伝えられたメッセージを、みなさんはどのように受け止めたのでしょうか。

この4月から始まる新しい出会い(入学式・新学年・クラス替え)。その緊張と不安を乗り越え、

新たな繋がりをつくり始めることが彼らのメッセージに応えることになります。

「人との繋がりの中で、人は人らしくなる」

まず一步を踏み出してみましょう。



同朋高等学校
学校長 梅田 功



音楽科



オーストリア修学旅行

3月3日から9日にかけて、修学旅行としてオーストリアを訪れました。日本とはまったく異なる文化や生活にふれながら、本場の音楽を味わってきました。

本場の音楽

212 鈴木 愛梨 (猪子石中学校出身)

修学旅行で一番印象に残っているのは、オペラ鑑賞です。私たちが観た作品「セビリアの理髪師」は、元の作品から少しアレンジが加えられていました。300年も前に作られた誰もが知っている作品をアレンジして、拍手喝采を受けていたことは本当にすごいと思いました。日本でこのようなことはなかなかないでしょう。なぜなら日本人にとって、クラシックは欧州からの借り物だからです。そのため欧州の人たちの感性を理解するのは難しいことです。また、今日の日本の音楽教育にも課題があるのではないのでしょうか。今まで、私は、「楽譜にこうあるからそうしなさい」と言われてきました。では、どうしてそうしなければならないのか?その部分こそ一番考えなければならないと思います。幸い私は、このことを深く考える先生方に会えることができましたが、同じような先生がどれほどいるかは分かりません。

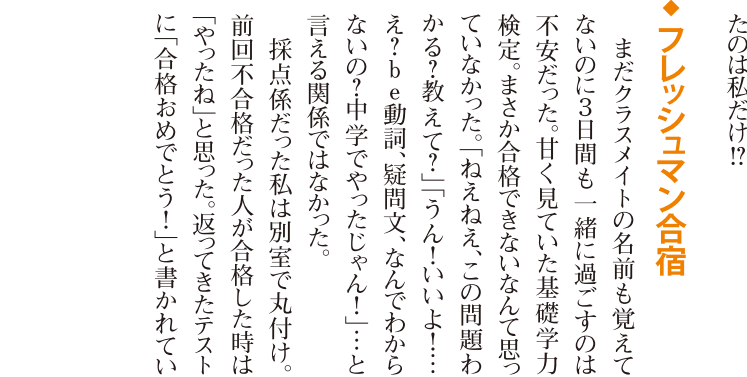
また日本では、機械によるいわゆる「打ち込み音楽」が盛んです。しかし、クラシックは人間の奏でる生きた音が響いています。日本という国の中ではできないことを、修学旅行では体験し、考えることができました。

Schedule (行事予定)

4月		
6	木	入学式
7	金	始業式
10	月	実力考査、2年MP説明会
11	火	1年生MP説明会、EP(英)説明会 3年生進路ガイダンス
12	水	3年生医療看護系ガイダンス
14	金	クラブ総会
19	水	1年生フレッシュマン合宿(〜20日)
20	木	2年生遠足、3年生上山研修
21	金	休校日
22	土	PTA常任委員会
5月		
2	火	金曜時間割
12	金	体育大会
13	土	PTA総会、3年生保護者進路ガイダンス
19	金	ウエサカ祭
24	火	中間考査(〜26日)
27	土	PTA常任委員会、地域懇合同地域担当者会議
6月		
2	金	英語検定
7	水	生徒会立会演説会
13	火	創立記念日
18	日	珠算・電卓実務検定
24	土	地域懇談会
25	日	地域懇談会、簿記実務検定
26	月	期末考査(〜30日)



2016年度も、卒業式を挙げる事ができました。
今年度のテーマは、「繋がり」。縦横にめぐる糸のように、
今までとこれからを繋ぎました。



「繋がり」

正門をくぐって最初に目に入っ
たのは、たくさんさんの名前。「あつた！」自
分の名前を見つけて、3年間ここに
通うんだと実感した。

担任の先生に握手を求められた時、先生も手汗をかいていた。緊張しているのは私だけじゃなかったんだ！

「新入生、合掌」「お直りください」

同朋に入って初めて教えてもらった合掌。この時に、仏教の学校だって知つたのは私だけ!!

まだクラスメイトの名前も覚えてないのに3日間も一緒に過ごすのは不安だった。甘く見ていた基礎学力検定。まさか合格できないなんて思っていたいなかった。「ねえねえ、この問題わかる？教えて？」「うん！いいよ……え？b e 動詞、疑問文、なんでわからないの？中学でやったじゃん！……」と言える関係ではなかった。

採点係だった私は別室で丸付け。前回不合格だった人が合格した時は「やったね」と思った。返ってきたテストに「合格おめでとう！」と書かれてい

ンパクトを与えてアカデミー賞を獲得と決めていたのに、最終日に変更になった。その代わりに私たちのクラスがトップバッターに！そういうえば体育大会もトップバッターだったね！

前日のリハーサルで時間内に終わらなかった。一場面減らすかどうかの判断は当日。いきなりの変更だったけどみんなうまく対応できた。

音楽科演奏会のために、文化祭中もずっと練習いままでみたいに客席は空席があるだろうと期待していませんでした。でも舞台上で目にした光景は、たくさんの方で埋まっている体育館。嬉しくて、練習が大変だったことも吹き飛んだ。

結果発表のときは、みんなで輪になつて呼ばれるのを祈つた。ドキドキしすぎて気分が悪かつた。自分のクラスが呼ばれたときは、一斉に立ち上がり、友達と抱き合つた。

沖縄つてこんなに寒いのか？暑くないじゃん！

ガイドさんにもらったさとうきび。硬くて食べられない！透き通った海、低い建物、名古屋とは違うゆつたりした雰囲気の沖縄。

て嬉しかった。

一緒の机に向かううちに気づいた
ら友達になっていた。それから話す人
が増えて、これからの高校生活が楽し
みになった。

同朋の玉入れはボールが高い。玉入れという名のドッジボールのようだ。

男子といえは騎馬戦！勝つ秘訣は「一脇しめろー」「姿勢低く！」そのアドバースは聞こえません。

体育大会といえはやっぱり応援合戦！後輩を教室まで呼びに行ったり、名前カードを作ったりして、積極的な名前を呼んだ。

今年初めて挑戦したエール交換。自分の群団だけ応援するのではなく、他の群団も応援できる体育大会にしたかった。同朋が1つになる瞬間を作ることができてよかった。

みんなを圧倒させたくて、ポデ
パークションを選んだ。ポーズが決
まて、拍手と歓声が聞こえてきた。
不安が一気に吹き飛んで、自然と涙が
溢れてきた。

みんなで笑った教員リレー。おそろいのＴシャツでやる気満々な先生たちで１位になったときは３年生全体が盛り上がった！

プライドを賭けた部活対抗リレー。
見所は、「サッカー部VS野球部」。先に
ゴールテープを切ったのはサッカー部

ただだけの時間をくれたんだって思っ
たけど、途中の階段がきつくて、次の
日全身筋肉痛。だからおじいは来な
かったんだね。

—伊江島からの手紙—

『同朋高校卒業生のみなさんへ。遠い伊江島から民家を代表しまして一言。みなさん卒業おめでとございます。あれから一年経つたんだなーと思います。どこに連れて行つても本当に嬉しそうに「三三三」しながら感動してくれました。みんなが伊江島を感じてくれたおかげで、私たち民家はもう一度自然に感謝することができました。みんな伊江島に来てくれてありがとう。感じてくれてありがとう。出逢つてくれてありがとう。またみんなの優しい、楽しい顔を見せに伊江島に帰ってきてください。待つてます。』

マウトハウズ

マウトハウゼン強制収容所のそばえ立つ壁を目にした瞬間、全身に寒気がした。教室くらいの小さな部屋に1,000人以上のユダヤ人が閉じ込められていたと知った時、ゾツとした。教会でミサ曲を歌ったとき、犠牲者への追悼の思いで、みんなが一つになった。ユダヤ人に生まれただけで無差別に殺された人や、苦しみがらも生き残った人がいたことを忘れてはいけない。二度と同じことが繰り返されない世界になってほしい。

僕たち野球部は4連勝してきたけど、今年は負けてしまった。サッカークラブがトラックの真ん中で喜んでるのを見て、本当に悔しかった。鍛えなおせよ！

野球部！

次の日、教室に入ると黒板に後輩からのメッセージ。帰るのが遅かった私たちを待つてまでメッセージを書いてくれたらしい。私たちについてきてくれてありがとう。来年は、私たちを越えてほしい！

文化祭はクラス全員で作り上げるもの。1人でも欠けたらいいものがない。

背景づくり。ほかのクラスの2倍の高さに挑戦。衣装集めでは、理想のものを探しまわった。早着替えは、私専属のマネージャーがいたおかげで出番に間に合った。脚本は、ケータイを使つて本のセリフをひたすら打った。3時間ある物語を40分まで縮めた。夏休み前には脚本完成。演技講座は、プロの役者の方を招いて演技指導をしてもらった。他のクラスの演技を初めて見て焦った。もつと練習しないとアカカデミー賞が獲れない!

LEDスーツが5体のうち1体しかできていなくて、あきらめかけていた。でも台風が来て希望の光が差し、チャンスの日になった。ありがとう、台風！

でも、僕たちのクラスは台風のためにリハーサルができなかった。初日にイ

普段絶対に見ることができない

ウィーン少年合唱団の授業を見学した。先生のおかげで貴重な体験ができた。幼いころに親元を離れて音楽に向き合う少年たち。私たちも厳しい音楽の世界で活躍したいと思った。名前もわからなかったけど、別れ際に手を振ってくれたあの子、今でも私のこと覚えているかな？

モーツァルトやベートーヴェン、シュ
ベルトが住んでいた家に行った。遺書、
髪の毛、デスマスクを見た時、少し怖
かったけれど、本当に生きていたこと
を肌で感じた。

いろいろな発見があつた通学路。

「3両目に乗つたらエスカレーターがすぐ!」「この道を通れば止まらず信号を青で渡れる!」「研究に研究を重ねた自分だけの道。最短記録は13分!」

「傘持てないから帰れやんやん」

「何言つてるの?やんやんつて何?」普通に言つたつもりなのに半笑いで言われて氣づいた方言の差。今ではそれが私たちのコミュニケーションの1つになつた。

毎朝「ありがたいお言葉」で1日が始まる。ちよつと目立って気持ち悪いけど、背筋が伸びる。

友達に言われて気づいた小テストの存在。放課にみんなでプリントを囲んで必死に覚えた。先生に「5分だけ時間ちょうだい!」とねだる男子に助けられた!





「8時30分になつても教室に誰もいない!」そんなドッキリを先生の誕生日に仕掛けた。照れくさそうにしている先生を見て、やつてよかったと思った。後から他の先生に自慢してたんだって!

食堂でおばちゃんが作ってくれる唐揚げは絶品。毎日唐揚げの為に長い列に並んだ。もう食べられないなんて信じたくない!

普通科…私たちの学年で初めて文系・美術系・理系・医療看護系のクラスに分かれた。ケガをしたことをきっかけに、リハビリの先生になろうと決めた。同じ目標を持った人がまわりにたくさんいたから、諦めずに目標を達成することができた。工芸・色彩・デッサン。自分とは違う表現力を持っている友達の商品。先生のくれる的確なアドバイス。毎回たくさんの発見があった。

木曜5・6限は、普段とは違うことが学べる「卒ゼミ」。ダンスを踊れるようになった。選んだ。でも周りは経験者ばかり。リズム感ゼロの私は、その2時間が苦痛だった。

商業科…クラスの7割を女子が占めていてびっくり。検定前の授業は簿記ばかり。「なんでこんなにやらなきゃいけないの?」という気持ちもあったし、先生の「全員合格」の言葉にプレッシャーを感じた。1人ずつ呼び出される結果発表。廊下に出ると、先生が笑顔で待っていて、安心した。今までとった資格は履歴書

言葉にたくさん救われました。
鬼頭先生…僕たちの百歩以上先を見ていて、ひとりひとりを大事にサポートしてくれました。先生がいたから心配事がなくなりました。
本田先生…笑顔でいることの大切さを教えてくれました。そのおかげで一歩前に進むことができました。
大島先生…全てにおいて一生懸命で、私たちのことを一番に考えて、喜ばせてくれました。私たちにとって自慢であり、憧れの先生です。

に書ききれないほど僕にとって唯一の自慢!

社会に役立つことを学べる商業科。先生たちは「社会でかわいがられる人間に育てたい」と言っていた。今の僕たちはそんな人になれているのかな?

音楽科…レッスン室をとるために昼放課のチャイムと同時に4階まで全力ダッシュ!試験前のお昼の教室はいつもガラガラ。朝も昼も放課後もレッスン室でひたむきに練習しているクラスメイトに、とてもいい刺激をもらえた。

年に2回ある公開実技試験では、ホールで一般公開する。親やクラスメイトに自分の成長を見てもらいたい。だから、いつもより気合を入れて練習した。人前で演奏することを鍛えられた。定期演奏会は、火曜5・6限のオーケストラ・合唱の授業の集大成でもある。音楽科全員が出演する唯一の演奏会。学年の枠を超えて、1つの音楽を創り上げた。

◆後輩へ

新しいことに挑戦することを忘れないでください。一緒に頑張ってくれる仲間がいます。

何かひとつでも目標をもつて高校生活を送ってください。どんな時でも応援してくれる家族がいます。

努力することは何よりも大切なことです。立ち止まったらいつでも

先生が導いてくれます。

卒業するころには、この同朋という「繋がり」が、あなたにとって宝物となっていることでしょう。

◆部活動

私はキャプテンに選ばれた。この時のチームはお互いに思っていることを言えなくて喧嘩ばかり。チームをまとめるのできない自分に腹がたつた。だんだん部員の数が減っていく。入ってきた後輩も私より先に辞めていった。去つていった仲間。止められなかった自分。力の無さと責任に押しつぶされそうになった。だけどみんな、チームをよくするために話し合つて、支え合える関係に変わった。

私たちマネージャーは本当に力になれているのかな?そんなことを何回も考えて嫌になった。だけど、いつも必要とってくれる部員がいたから乗り越えられた。みんなを支える立場だったのに、いつのまにか自分が支えられていた。この学年のマネージャーになることができてよかった。

最後の大会。試合に負けた瞬間、色んな思い出がこみ上げてきた。今まで僕たちがやってきたことに悔いはない。僕の人生にとって貴重な3年間になった。

たくさん挫折して何回もあきらめようとした。でもずっと一緒に頑張ってきた仲間がいたから、辛いことも乗り越えられた。

部活で学んだことはたくさんある。

たくさん悩みました。そんな時にお母さんが「やりたいことがあるならやればいいよ。」と言ってくれたから、大学に行くことを決心できたよ。振り返ればここまで来るのにたくさん挫折しました。何度もあきらめかけた時、逃げ出そうとした時に、隣で支えてくれたのがお母さんでした。その小さな身体で自分のことよりも家族のために一生懸命働いてくれるおかげで、私は毎日学校に通い、多くのことを学び、たくさんの人に出会うことができたよ。そして今日卒業することができました。いつか恩返しができるように頑張ります。いつも私の味方でいてくれてありがとう。』

◆友達・部活の仲間

いつも隣にいてくれるあなたへ。しよもないことではしゃいだり、お互いの気持ちをぶつけあったりしたね。いろんな思い出があるけど、あなたの隣はいつも安心できる場所だったよ。心から大切なあなたへ。すれ違ってなんとなく距離があったこともあったけど、なんだかんだ今でも隣にいるよね。やっぱり大切な存在だつてことに気づいたよ。

何度も助けてくれたあなたへ。悩んでいる時、不安で押しつぶされそうな時、いつもエールを送ってくれた。背中を押してくれたから前に進むことができた。

離れ離れになつてしまったあなたへ。あなたが学校をやめたとき、なんで

思っていることは自分の言葉で伝えること、感謝を忘れずに生活すること。このことを忘れずに進んでいきたい。

◆先生

林先生…いつも全力で真正面から向き合ってくれました。私たちのことを信じて見守ってくれる心強い存在です。

山本先生…観察力がすごくて間違つたことは言わず、強い意志で背中を押してくれました。そこから自信を持つことを教えてもらいました。

荒川先生…提案したことに対して何でも真剣に取り組んでくれました。嬉しい時、悲しい時、私たちと共に歩んでくれた最高の先生です。

石塚先生…何事もポジティブに考えて、行動することを教えてくれました。元氣が出ないとき、パワーをくれたのは先生でした。

山中先生…丁寧に細かいところまで気づいてくれて、困っていたらすぐに声をかけて、行動にうつしてくれました。その一言に何度も助けられました。

森岡先生…困った時、助けを求める答えはくれないけど、魔法みたいなヒントをくれました。広い視野で物事を見れるようになって、成功につながりました。

萩原先生…悩んでいる時、時間がなくても相談に乗ってくれました。話す気持ちはすすきりして先生の

止められなかったんだろうと後悔した。だけど一緒に過ごした時間はなくならないから、またいつかあの時みたいに話せるといいな。

ありのままで接してくれたあなたへ。友達だからこそ、自分のいいところも悪いところも、包み隠さず全部言ってくれたよね。だから逃げずに向き合うことができたよ。

一生大切にしたいと思えるあなたへ。これからも今までのように変わらない関係でいれたらいいな。出会ってくれてありがとう。

人の幸せを願ってくれるあなたへ。他人の幸せを自分のことのように喜べる人が本当の友達。そんな友達が同朋高校にはたくさんいる。

一人で抱えきれなくなつて流した涙。あなたの言葉が私を救った。もう下は向かない。手と手をつないで歩きたそう。

卒業生合唱「あなたへ」

今までの思い出
これからの出会い
ふとした瞬間に大切なものだつて気づいた
一度できた繋がりには切れることはない

私たちを強くしてくれるのはこの同朋という「繋がり」



学校長式辞

同朋高等学校校長 梅田 功

立春が過ぎてまた寒い日が続いています。ただ春は確実に近づいており、樹々の芽が赤く鮮やかな色に変わり始めています。

たゞいま卒業証書を手にした380名の卒業生のみならず、卒業おめでとう。教職員を代表してみなさんの門出を心から祝福いたします。みなさんが手にした卒業証書は、一人ひとりの努力によって得られたことはもちろんですが、その陰には深い愛情を持って見守って下さった家族の方々や、先生、友達など多くの人たちの励ましや支えがあったことに、今日改めて感謝の気持ちを伝えをほしいと思っています。

さて、卒業生のみなさんには今日が最後の話になります。先月、ある新聞でこんなコラムを目にしました。「ある哲学者が4歳の孫と旅に出た。電車内で、哲学者はずつと本を読んでいたそうです。相手をしてくれないので退屈した孫は仕方なく歌を口ずさみはじめた。へんのために生まれて、なにをして生きるのかへたえられないなんて、そんなのはやだ」とその歌を聴いたおじいちゃんは何なんだ、これはと驚いたそうだ。「4歳の子がなぜ、こんな内容の歌を口にしたのだろうか」

もうお分かりかと思いますが、口ずさんでいたのはアンパンマンの主題歌、アンパンマンのマーチです。作詞はアンパンマンの作者、やなせたかしさんです。高校生に子どももアツアツの話かと驚かれるかもしれませんが、私が私もある大学の学長のお話を聞くまでは、たかが子どももアツアツだと思っていました。しかし、やなせさんかアンパンマンに託した思いから学がことが少なくないことを知り、彼の言葉をお借りしながら、考えてみてほしいことを3つお話しします。

やなせさんの弟さんは、戦争で特攻隊として亡くなりました。やなせさん自身も日中戦争に徴兵され、辛い肌戦体験をします。その体験が原点となりアンパンマンは生まれ

ました。正義のヒーローというのは、普通は悪を倒すかっこいいヒーローですが、やなせさんの正義のヒーロー、アンパンマンは、武器や特殊な能力もなく、顔が濡れるだけで力がなくなる情けないヒーローです。つまり我々人間に近い、弱さを持ったヒーローといえます。そして、飢えた人を助けるために自分の頬を引ききつて与えます。自分を傷つけて飢えた人を助ける。自己犠牲を伴う正義。それが本当の正義だとやなせさんは言います。一夜にして変わる正義もあれば、人を傷つける正義もありました。一方、弱い人を助ける自己犠牲を伴う正義。みなさんは、本当の正義とは何かを考えてほしい。これが一つ目です。

二つ目に、敵対する相手とどう対応するのかという事です。やなせさんは、バイキンマンの例を出して言っています。バイキンマンは食品の敵だが、アンパンをつくるには菌がないとできない。また人間は、体内にあるおびただしいバイキンと常に闘っているが、バランスを取って生きている。敵対しているが、バランスを崩さない。敵対する者と共生できること、共生することが大事だと言います。アンパンマンが毎回、バイキンマンをやっつけてはしても、決して殺さないのはそのためです。今、世界で起きている差別や対立、戦争。どうしたら対立する者と共生できるのか、それとも共生はそもそも無理なのか、難しい問題です。

そして三つ目、人間への理解ということです。ロールパンナというキャラクターがいます。ロールパンナはメロンパンナの姉として、妹よりも後から登場したキャラクターです。子どもアツアツの中ではめずらしく、善い心と悪い心の両方を持ちます。アンパンマンを見れば悪い心が騒ぎ、妹のメロンパンナが声をかければ善い心に戻る。胸にあるハート型の赤と青のマークの色で、今どちらの心にあるかわかります。重い運命を背負ってしまった彼女は、自分の命の意味を考え悩みます。まさに「人間の心そのものです。やなせさんが、なぜ後からこのキャラクターを登場させたのか。人間とは一体何なのか。これも考えてみてほしいテーマです。以上、アンパンマンに託されたテレビからは分からない、やなせさんの深い思いの一端をお話しし問題提起しました。

本校の建学の精神に「共なるいのち」というものがあります。命は、ずつと昔から今に繋がっています。我々がこうして生きているのも、命が繋がってきたおかげです。戦争し合う者同士も同じ命を生きています。私達は、この繋がってきた命を、自分

に頂いた、一つしかない大切な命をどのように生かしていったらいいのでしょうか。これを「共なるいのち」の問いとすれば、この問いと、最初にお話しをした、やなせさんの問い「何のために生まれて何を生きているのかは、実は同じ問いなのだ」と気づきました。この問いに、先ほどの問題提起も含めて、一生かけてじっくり考えてみませんか。これが今日一番言いたかったことです。答えはすぐに出なくても構いません。むしろ、答えはありません。答えを点検することできません。みなさん一人ひとりが考えたことがそのまま答えなのです。

ちなみに、やなせさんの答えは漫画家らしく簡潔で僕は、みんなが楽しんでくれるのが一番嬉しい」と言っています。加えて、それがすぐにはわかったわけではないんだよね」とも言っています。アンパンマンの絵本を書いたときに54歳、アニメ化されたのが69歳。遅咲きのやなせさんは、94歳で亡くなるまで、生きる意味をずっと問い続けた人でした。それに比べれば、みなさんの人生はまだ始まったばかり。これに比べれば、みなさんでも人生をデザインできます。まさに「前途洋々」です。

最後、エールを送って終わります。卒業生380名、一人ひとりの未来に幸多かれ！以上で卒業式の式辞といたします。

来賓祝辞

同朋高等学校PTA会長 水野 省哉

みなさん、卒業おめでとうさいます。思い起せばあつという間の3年間でしたが、私たちも子どもから多くのことを学ばせてもらえたのではないですか。こんな立派に成長した姿に安心するとともに、どんなに私たちの手を離れていく寂しさと嬉しさを感じられていることと思います。私などは、これから子どもたちを応援していく君たちを応援し続けていきます。

そして今日無事、この卒業式を迎えることができました。梅田校長先生をはじめ、諸先生方、学園関係者のみなさまのおかげです。温かく、時には厳しく、ここまで導いていただき本当にありがとうございます。保護者を代表して心よりお礼申し上げます。みなさん、高校生活の3年間は、うでしたか。社会人、あるいは学や短大、専門学校などに進学されるみなさん、どの道を選ぶにせよ、みなさんは大人になる第一歩を踏み出すわけです。高校までは保護者や周囲の大人が守つてくれた生活であり、それは時に不自由な、迷惑させられるものであったかもしれませんが、しかし、これからは子どもも扱いはれませんが、自分の意思が尊重され、選択で選ぶ幅が広がる反面、責任もまた大きくなります。

みなさん、これから生きていくうえでは、さまざまな困難や悩みにつかるときもあるでしょう。どんな困難に對しても知恵を絞って行動を起してほしいです。反対にどうしても達成できないと感じたのであれば、軌道修正を見つけて、またやり直してください。何もかも自分でやらなければと思わず、迷ったとき、悩んだときは周りを見てください。

今までみなさんは、たくさんの人たちに出会っているはずです。みなさんの成長を促し、見守り続けてくれた保護者の方々、導いて下さった先生方、友情を築いて下さった同級生や先輩、後輩、そう、うた方々、協力を求めるのも、進捗のひとりで。そして、責任を持つ自立した大人になり、周囲の方々との良好な関係を作りつつ、社会で活躍するうな人になつてほしいと願っています。最後に、これからどうして元気で、立派に成長した姿を見せつけて、本当にありがとうございます。これからも成長し続けるみなさんの姿を、私たちに引き続き続けてください。卒業おめでとう。



卒業生保護者お礼の言葉

保護者代表 倉橋 美紀

体育大会、友達とぶつかり合ったり楽しんだりしながら、ひとりの演目を作り上げ、達成感を味わった文化祭、親元を離れ、遠い地で今まで知らなかったことを発見し、体験して、一回り大きく成長して帰ってきた修学旅行。これらの行事は、すべて親から子に伝えることができない、集団生活でしか学べない貴重な体験でした。学校は勉強を教わる場であることはもちろんですが、人間形成の向上ができる最高の場所。そして、この心とひとりの経験があつてこそ、社会の中で生きていけると私は思います。私は子供から大人になる「思春期」を過ごしている我が子と一緒にいて、子供は親だけでは育たない、人様にも育ててもらっている、と気づかされ、私たち親は子供と共に親育ちをしているのだと実感しました。そして子供たちが生まれてきてくれたからこそ、私たちが親も成長できるのだと、そんな子供たちに「ありがとう」の気持ちを込めて、保護者全員での歌を贈ります。

この同朋高校に入学した日を、まるで昨日のことのように思い返します。義務教育を終え、親子で相談しながら決めた同朋高校へ「縁をいいただき、不安と期待でいっぱいだった我が子の姿を見て、大きく

中、応援合戦の練習、真つ赤に日焼けし、疲れて帰った



3年生

多くの人と繋がった卒業式

卒業生 307 鈴木 理万
(当知中学校出身)

同朋高校の卒業式第2部を初めて見た1年生。舞台に立っている先輩の姿がかつよくて、私もあの舞台に立ちたいと思いました。しかし、2年生で第2部を見たとき、「同じ卒業生なのに、なぜ舞台に立っている卒業生しか輝いていないのだろう。」と疑問に思いました。そのため、私たちの卒業式では今までにない新しいことに挑戦し、卒業生全員が輝けるものにしたという気持ちが強くなりました。そして3年生では卒業式実行委員会に入ることを決めました。

私たちが「繋がり」をテーマにした第2部でこだわったことは、これまで新しいことに挑戦してきた学年としてさらに新しいことに挑戦すること、私たちの学年らしいものにする事です。そして、体育大会の応援合戦で優勝した群団の「ボディーパーカッション」、保護者に感謝の気持ちを伝えたいという想いから「保護者席を向いての合唱」に挑戦しました。今までに行つたことがなかった不安はありましたが、最終的に「繋がり」のある式を作ることができてよかったです。

卒業式の準備を通して気づいたことは、「卒業式は私たちの力だけでは成功することができない」ということです。先生方、業者の方、部活動のみなさんが支えてくださったからこそ成功したのだと思います。また、私は3年間クラス連合に所属してたくさんの人に関わり、繋がりました。オープニングを各群団長が飾つてくれたのも、朗読者指導のために関わつてくれた人がいたのも、前日リハーサルでたくさん人の人が応援に来てくれたのも、この3年間で築きあげてきた繋がりがあつたからだと思いました。一度できた繋がりは切れることはありません。私たちを強くしてくれたのは、同朋という「繋がり」です。在校生のみなさん、心温まる歌のプレゼントをありがとうございます。同朋でしか経験できないことがたくさんあるので、いろいろなことに挑戦してください。応援しています。そして、同朋高校。私は同朋に入学してからたくさんさんのことを教えてもらいました。本当にありがとうございます！

2年生

「感謝」であふれた卒業式

210 中村 風沙
(振甫中学校出身)

私は卒業式前日、この卒業式を「感謝」であふれた卒業式にしたいと言っていました。それは実行委員長としてだけでなく、後輩として素直に出た言葉でした。

今年の実行委員は本当に多くの人に支えてもらいました。体調を崩して予定が狂つてしまひ、うまくスケジュールが立てられなかった時。朝早くから集まることになった時。そして先生方や情報処理部に無理なお願ひをした時。一関わつてくれた全ての人に助けられました。正直自分は何もしていないのと同じで、最後に少し舞台上で話しただけでした。本当に感謝しかありませんでした。

もう一つ、前日リハーサルで先輩方がスタッフの方全員に「お願いします」と言っていたのが印象的でした。私が直接言われたわけではありませんが、それでも、この先輩方のために自分のできることを全力でしたい！と強く強く思いました。本当に私が先輩に「ありがとう」と言いたくなる卒業式となりました。

1年生

初めて泣いた卒業式

104 高川 結衣
(猪高中学校出身)

同朋高校で3年生の姿が見られる最後の日。私は合唱構成詩で2年生の先輩と一緒に朗読をしました。今回朗読をするにあたって、担当の先生のご指導のもと、話すスピード、声の大きさ、イントネーションなど、残り少ない時間の中で練習を重ね、少しでもよい構成詩になるように全力を尽くしました。

卒業式前日のリハーサルで思つたことがひとつあります。それは、3年生が合唱構成詩の通し練習をしているときのことでした。普通、演劇をするときは先生が指導をします。しかし、同朋高校では照明・音響・役者さんなどすべての指示を生徒がしていました。台本も手作りでした。これを見たとき、すごいなと思つたのと同時に、2年後に自分たちと同じことができるのかなと心配になりました。それくらい、3年生の構成詩はすばらしかったです。

卒業式当日は、リハーサル通り順調に進んでいました。朗読も今までの練習の中で一番上手に話せたのではないかと思います。構成詩の最中、リハーサルでは笑顔だった3年生ほとんどが舞台裏で涙を流していました。私は今まで卒業式で泣いたことがありません。小学校も中学校も周りの友だちが泣く中、私はなぜか泣けませんでした。そんな私が同朋の卒業式で初めて泣きました。自分が送られる側でもないのに、どうして涙が流れたのかは分かりません。きっと、体育大会の時に応援合戦と一緒にやつた先輩、個人的に関わつた先輩のことを思い出していたのだと思います。

同朋の卒業式は、中学校のように送辞・答辞：を淡々と行うのではなく、在校生・卒業生が作り上げるものだと思えました。とても感動する卒業式でした。



合格体験記

この春に卒業した先輩から、在校生のみなさんに、メッセージを寄せていただきました。

南山大学法学部法律学科 合格

普通科 加藤 陵祐
(鳳台中学校出身)

私が第3志望校を南山大学にした理由は、自分にとっては十分に挑戦と言える学校だと思ったからです。

私は同期高校には推薦入試で入学しました。正直に言えば、一般人受験者のような苦労をすることなく高校受験を終えたのです。このような経緯もあって、大学受験としては必死に頑張ってみようと思い、南山大学受験を決めました。

受験勉強を始めたのは高校3年生の夏休みです。勉強した内容やその時間、間違えた問題や正解した問題を、受験日前日まで記録し続けました。これはその時点で、自分は何が出来ないのかを可視化し、それが出来るようになるためには何が必要なのかを模索するためです。また勉強計画をたてやすくするためでもありました。

最終的に、受験終了までの総勉強時間は約450時間でした。受験日は2月の下旬でしたので、平均すると1日2時間半勉強したということになります。これは「毎日、2時間半勉強しよう!」と決めたからではなく、「1日にやる」と決めた勉強内容のルマが、おおよそ2時間半で終わったということです。

私は勉強時間自体についてはまったくこだわっていませんでした。大切なのは時間ではなく、自分で立てた計画に基づいて、1日にこなすべきルマを着実に達成していくことだと考えたからです。そのため、その日のルマが1時間で終わってしまえば、その後は映画も見ました。1時間で終わらなければ2時間、3時間と勉強していました。

私は熟には通っていませんでした。その大きな理由としては、このように自分の好きなペースで勉強した

いと思ったからです。分からない問題があるときには、解き方はインターネットで調べればすぐに知ることができました。また先生方を頼ることもありました。ここまでは一見順調だったように見えるかもしれませんが、実際はそうとは言えません。模擬試験の合格判定は、南山大学は結局最後まで「E判定」でした。これは、ほぼ確実に不合格ということでした。

しかしながら、私は南山大学を受験することを諦めようとは少しも考えませんでした。なぜなら、毎日の勉強から学力は確実に向上しているという実感があつたし、初志貫徹の信念があつたからです。最後の模擬試験の時点では「E判定」の実力しかなくても、受験本番までに合格できる実力を付けければ良いだけです。

結果として、私は南山大学に合格することができました。自分の力を信じて最後までやりきった事は、自分の中で確かな自信になっています。そして、支えてくれた先生や家族に感謝しています。

また、経済的な理由で塾に通えない在校生のみなさんには、それを「受験に不利」な要因だと考えてほしくありません。塾へ通うかどうかは合否を決める要因ではありません。

どんな場合でも、どれだけ自分を管理し、目標達成のために尽力するかがカギだと思います。あらゆる場面において、最良だと思える選択をし続けることが、後悔のない過去をつくる最も確実な手段であるはずです。

なだ万内定

商業科 高津 結衣
(北名古屋市立白木中学校出身)

私は11月上旬に「なだ万 厨房」から内定をいただきました。自分自身のことをよく理解し何を伝えたいのかを明確にまとめ、志望動機も何度も書き直しました。面接も暗くなる時間まで学校に残り、同じ就職仲間と、所懸命練習しました。当日、試験は午後からだったので、午前は学校にいました。試験から試験会場へ向かう時、クラスのみんなが「頑張れ!」と応援してくれました。たくさんの人に支えられていると改めて感じました。

販売職に就きたいと考えた私は、2年生から就職活動を始めました。実際に求票を見ると、販売職の求人はいくつもなく、思うように就職活動を進め

ることができませんでした。先生方や家族、友人にアドバイスをもらい最終的に進路を決めることができました。

3年生の夏休みに会社見学に行くことが決まり、準備として名古屋市内にある5つすべての店舗に行き、販売する姿を見学しました。会社見学の際、店舗を見に行ったことを伝えると「すごいね、熱心だね」と言っていたが、好印象を残すことができたと思います。面接の時でも同じでした。5店舗全てを見ることに意味があるのか、と思つた私も大切だったと実感しました。このような経験から「できることは、何でもやろう」と感じます。

入社試験の準備では、夏休みに学校へ行き、一般教養の問題を解き、面接の練習をしました。面接の練習は、普通科・商業科関係なく、どの先生も丁寧に指導してくださるので、なるべく早くから多くの先生にご指導していただくいいと思います。先生一人ひとり違ったアドバイスをいただけるので、面接の回数はおもちゃですが、ご指導いただいた先生方の人数も大切だと思います。厳しいことも言われ、不安になり、嫌になることもあると思いますが、回数を重ねることで自信へと繋がります。

また、就職するためには体調管理が大前提です。私は就職を意識してから、体調管理を意識して、欠席をすることはありませんでした。1、2年生のうちから遅刻や欠席をしないことは、3年生になつてから困ることが少なくなります。今からでも少しずつやることを積極的にやりましょう。

就職活動はとても大変だと思います。泣きたくなる時もあります。しかしそういう時こそ、家族や先生方、友人を頼って、自分の道をしっかりと切り開いてください。

愛知県立芸術大学音楽学部 音楽科作曲専攻作曲コース 合格

音楽科 世古 汐里
(秋山中学校出身)

私は音楽が好きで、小学生の頃から作曲を始めました。中学生までは「音楽は自分の好きなことをして楽しむもの」という認識だったと思います。

しかし同期高校音楽科に入学すると、時間割には音楽の科目がしっかりと組み込まれていました。周囲には音楽をしている仲間や先生がいる環境で、

私の中で音楽は「遊び」から「学び」へと変わっていききました。そして、もつと作曲を学び、さらに良い曲を書きたいと思い、愛知県立芸術大学を志望することになりました。

私の受験した作曲専攻は、今年から「自己推薦入試」という制度があり、受験の機会が増えました。しかし、近年では作曲専攻の合格者は0人ということを知り、自信はありませんでした。

出願のときには提出作品が3曲必要でした。試験当日は3時間で器楽曲作曲をしなければならず、早く作曲するのが苦手な私にとつても大変なことでした。結果は不合格でしたが、多くの作品を書いたことや大学での受験の経験は、一般人入試に向かう上でとても参考になりました。

またセンター試験に必要な科目は2科目で、英語が必須となっていました。私は残りの科目を、得意な国語にしました。しかし、英語はとても苦手で苦労しました。今までにこれほど勉強したことはないというほど英語を勉強しました。模擬試験では、自分なにかなり良い点数をとることができましたが、本番では思うように点数がとれず、落胆しました。

しかし、引きずってはいけなないと思ひ、すぐに次の実技試験の勉強に力を入れました。「もう苦手な英語の勉強はしなくていい」という開放感と、大好きな音楽に集中できるという嬉しさがあり、今までより熱意をもつて勉強することができました。得意なソルフェージュで英語の失敗を挽回しよう、と、前向きな気持ちで試験日までがんばりました。先生や友達、家族も応援してくれていたのも、期待を裏切りたくないという気持ちもありました。

一次試験は、3日間にわたる長時間でしたが、どの日も集中して、できる限りの自分の力を出すことができました。二次試験のソルフェージュは例年よりも難しい問題でしたが、今まで取り組んだことを信じて、あまり動揺せずにできました。英語の点数が良くなかったことで不安はありましたが、自分の得意な部分を本番直前まで伸ばし、合格することができました。

私は早い段階で自分のやりたいことを見つけ、それを高めていくことができる環境にいたことが、合格に繋がったのだと思います。その環境を作ってくれた学校や先生、友達、そして家族にとても感謝しています。大学ではもっとたくさんのことを学び、自分の音楽の世界を広げていきたいです。

2016年度 合格状況

(2017年3月31日現在)

四年制大学

同朋大学・名古屋音楽大学・名古屋造形大学・大谷大学・
東京大学(卒業生、愛知大学卒後編入)・愛知県立芸術大学・
愛知大学・愛知工業大学・愛知淑徳大学・金城学院大学・
修文大学・愛知学院大学・相山女学園大学・中京大学・中部大学・
名古屋外国語大学・名古屋学芸大学・南山大学・日本福祉大学・
名城大学・四日市看護医療大学・岐阜聖徳学園大学・杏林大学・
国立音楽大学・国士舘大学・洗足学園音楽大学・日本大学・
東京音楽大学・東洋大学・京都精華大学・龍谷大学 など

短期大学

名古屋短期大学・名古屋柳城短期大学・
大垣女子短期大学・岐阜保健短期大学 など

専門学校

愛北看護専門学校・愛生会看護専門学校・えきさい看護専門学校・
名古屋市医師会看護専門学校・まつかけ看護専門学校・
ユマニテク看護助産専門学校・あいち福祉医療専門学校・
国際医学技術専門学校・星城大学リハビリテーション学院・
中和医療専門学校・東海医療技術専門学校・
大原法律公務員専門学校・中部楽器技術専門学校・
中部美容専門学校・中日美容専門学校・
トヨタ名古屋自動車大学校・名古屋情報メディア専門学校・
名古屋医療秘書福祉専門学校・名古屋芸術大学保育専門学校・
名古屋文化学園保育専門学校・日産愛知自動車大学校 など

就 職

愛知県警察・日本郵便・トヨタ自動車・アイシンエイダブリュ・
名古屋鉄道・イオンリテール・なだ万・センゾー・ヤマト運輸・
アルプススチール・小川工業・海南病院・弥富福祉会 など

商業科



全国商業高等学校協会主催 検定試験

五種1級合格者

柴田 拓真 (黄金中学校出身)
山田 康一 (伊勢山中学校出身)

三種目1級合格者

佐久間 俊光 (平針中学校出身)
浦岡 寧々 (大治中学校出身)
加藤 舞花 (日比津中学校出身)

五種目1級合格

310 山田 康一 (伊勢山中学校出身)

私は入学当初から、多くの検定資格を取得しようと思っていました。なぜなら、新しいことに挑戦したいと考えたからです。検定に合格するまでには多くの人に支えられました。まずは、友達です。同じ検定の合格を目指しているの、わからないことがあればすぐに聞いたり、教えあつたりしました。放課後に一緒に勉強し、一緒に帰ることが今思い返せば思い出になっています。次に、先生方です。課題研究という選択授業がありますが、選択していない授業の1級の検定を申し込んだことがありました。1人で勉強していましたがその授業を担当している先生が、「わからない問題があつたら補習をしているから聞きに来たら教えるよ」とおっしゃってくれました。難しい内容だったのでこの言葉に助けられました。そして、部活の顧問の先生から「5冠目指して頑張れ」と言われました。この言葉を聞いたとき期待されていると感じ嬉しかったです。私は3年生の時点で1級を1つしか取得していませんでした。そのため、五種目で1級を取得するためにはあと4つ検定の1級を取得しなければなりません。検定の勉強をするたび難しい問題がありましたが、やめようと思つたときこの言葉に何度も励まされました。これらの経験を通して諦めずに続けることが結果につながったと思います。もし1人だけで勉強していたら、五種目1級合格は達成できませんでした。周りの人すべての支えがあつたからこそこのものです。これらの人生においてもこのことを忘れずに過ごしていきたいです。